

平成 30 年度 山口県日本型直接支払推進協議会会長賞

多面的機能支払交付金部門 受賞

## 田布施町地域広域協定(田布施町)

- (1) 取組面積 田:276.391ha 畑:13.22ha
- (2) 資源量 開水路:89.5km 農道:55.8km ため池 6 力所
- (3) 取組活動 農地維持活動、資源向上活動(共同)(長寿命化)
- (4) 交付金額 30,000 千円(年間)



## 地区の概要

田布施町は山口県の南東部に位置しており、室津半島の付け根、瀬戸内海沿岸から内陸に向かって町域が広がっている。町の北西部は山地帯となっており、この山地に源をなす小河川が合流して田布施川となり、中央部を貫流し、南部の瀬戸内海に注いでいる。また、瀬戸内海に浮かぶ離島である馬島を町域に含むほか、内陸部には柳井市と光市、そして岩国市に囲まれた飛び地(小行司地区)が存在する。

平成23年度からは、国営緊急農地再編整備事業南周防地区において区画整理暗渠排水等を一体的に整備し、土地利用の秩序化、担い手への農地の利用集積の促進、耕作放棄地の解消・発生防止、大豆や小麦などの畑作物を導入、地域農業の担い手の経営の合理化を図り、農業振興を基幹とした地域の活性化に資することを目指している。



## 主な取組内容

平成19年度から「農地・水・環境保全向上対策事業」に取り組んできた。平成26年度からは「多面的機能支払交付金」として既存の16の活動組織が個別に活動してきましたが、いずれの活動組織の構成員も高齢化が進んでおり、今後の活動継続に不安を抱いていた。また、各活動組織の対象農用地面積は4haから30haと小さく交付金も少額であることから、個々の活動組織での活動も限界が見えてきた。

そこで、共同活動の継続及び地域資源の保全管理を推進するため、活動組織の広域化による組織力の強化を図り、更に実施中である国営緊急農地再編整備事業南周防地区と連携して地域内の農業法人・担い手への農地集積にも取り組んでいる。

# 農村環境の未来を考える研修会 VOL.11

## 研修会プログラム



平成 30 年 10 月 31 日 (水) 9:30~12:00  
山口ゆめ博 維新体験館 多目的ドーム

1. オープニングセレモニー (9:30~9:55)

和太鼓 こなみかい 鼓波会

2. 開催行事 (10:00~10:30)

- ・主催者挨拶
- ・来賓祝辞
- ・平成 30 年度 山口県日本型直接支払推進協議会会長賞 表彰

3. 事例報告 (10:30~11:00)

テーマ 「広域化による地域づくり」

長門市俵山地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会

みうら たつみ  
三浦 辰美

4. 基調講演 (11:00~12:00)

テーマ 「山口の田舎は宝の山」

特定非営利活動法人えがおつなげて

そねはら ひさし  
曾根原 久司

5. 閉会

### 注意事項

9月14日に開会した山口ゆめ花博は多くの来場者で混雑しており、飲食等の確保が難しい状況です。  
昼食場所等の確保については事前確認をお勧めします。

なお、お弁当の持ち込みは可能です。(ただしゴミは持ち帰りが必要)

編集・発行: 〒753-0079 山口市糸米 2-13-35 (県土連ビル 4F 地域支援課内)

山口県日本型直接支払推進協議会

TEL 083-933-0755

FAX 083-933-0756

<http://www.tamenteki-yamaguchi.jp>